

10. 小児歯科臨床における 8 ミリビデオの利用 — 咀嚼機能の観察 —

○増田 純一

(福岡市・マスタ小児歯科)

小児歯科の目的の一つに「健全な口腔機能の完成」があり、呼吸機能から摂食、咀嚼、嚥下、発声等の機能にいたるまでバランスよく発達する必要がある、そのためには、健全な顎口腔系の成長発育が望まれる。その成長発育に最も大きな影響力をもつ機能が咀嚼機能と思われる。

咀嚼機能の解明のために、顎運動解析装置等を用いた小児の顎運動や食品の咀嚼経路の研究、筋電図を用いた咀嚼筋の活動量や咬合機能の研究等が多く研究者によって行われているが、未だ臨床の場において、咀嚼機能を機能的に診断できる簡単な装置で、しかも、低年齢児が協力的に使用できるものはない。

そこで、私は 8 ミリビデオで子どもの咀嚼をクローズアップ撮影することにより、子どもの自然な咀嚼の様子を観察し、咀嚼力の評価、咀嚼運動の異常な動き、嚥下運動の異常、食塊形成の異常、床装置による咀嚼運動の安定などがみられ、さらに、その子どもの食生活もとらえやすく、母親とのカウンセリングにも効果があるなど興味ある知見を得たので報告する。